

「ココア」の「ココア」

当園で飼育している雌のラマ「ココア」——写真——は、目から鼻先にかけては白色で覆われ、顎から首までは黒色という個性的な模様です。目はクリッとしていて、なかなかの美人だと思っています。

職場体験で来園した学生がラマ舎に入ると、たいていは近くに寄っていき、クンクンと匂いをかぎます。

この懐っこさに気を許してかまおう

とすると、

「ペツ」と唾を吐かれてしまいます。好まいます。好奇心が旺盛で気が強いんです。

ラマは、威嚇や攻撃のために唾を吐く習性があり、



飼育員 日誌

須坂市動物園

愛すべき気まぐれちゃん

唾には胃の内容物や胃酸が混ざっていて、とてつもなく臭いんです。機嫌が悪いなと感じたときも、近づかないほうが無難です。お構いなしに「ペツ」とやられてしまいます。その一方で、飼育員にお辞儀をしたり、頬にチューをしたり、かわいらしいしぐさをすることもあります。

自由奔放で気まぐれなココアは、愛すべき存在です。ラマ舎の前では、ココアを怒らせないように、唾を吐かれないよう、気を付けてくださいます。そうすればきっと、ココアも愛想よく応じてくれます。

